

最後まで解けるかな？金ヶ瀬公民館で謎解き「青木博士からの挑戦状」



▲スクリーンに映し出された青木博士から、子どもたちへ「ラストゲームで待っているぞ!!」

小学校4～6年生の親子を対象にした謎解きゲーム「青木博士からの挑戦状（主催：大河原町青年会 smile@逢河原（スマイルアットマークおおがわら）共催：大河原町教育委員会）」が1月25日、金ヶ瀬公民館で開催されました。

これは東北大学未来科学技術協同研究センターの青木輝勝さんが研究室のゼミの一環として行っている事業で、ゲームは一つの問題が解けると、スタンプをもらい次にすすめるスタンプラリー形式で行われました。

学校で学ぶ算数などをちょっとひねった問題に子どもたちが苦戦していると、お父さんお母さんも一緒になって考えていました。

また、迷路やクロスワードなどの頭を使う問題のほか、紅白の旗を持った姿をスクリーンに映して指示通りに旗を上げ下げするゲームに、子どもたちは頭も身体も使いながら挑んでいました。



▲「白下げて、赤下げて」の音声指示を良く聞き取らないと難しい旗上げゲーム。



▲カメラで撮影された画像を、ぬり絵用に加工。世界に一枚のぬり絵を楽しみました。



▲学校で学ぶ問題もゲームになる。やる気も違ってくる?

地域コミュニティ・防災の新しい拠点誕生

橋本交流センターオープン

地域全体の交流の活性化を目指し、新たに地域コミュニティの活動拠点として建設が進められていた橋本交流センターが完成し、1月25日、落成式が行われました。

この施設には宮城県産木材がふんだんに使われ、玄関を開けると、木の香りと和紙を使った照明の優しい光が来館者を出迎えてくれます。

当日落成式に集まった皆さんは、「新しい建物なのに落ち着くね」と木のぬくもりが温かい集いの場の完成を喜んでいました。



▲災害時に必要な物資の保管・備蓄や炊き出しなどを行える第一次避難場所としても使用されます。

和紙を使った照明

参加者の皆さんは晴れやかな表情で落成を喜んでいました

知的障がいのある人の視界を体験 大河原町障害者等理解促進研修・啓発事業



▲ペットボトルを加工した眼鏡を使い、自閉症のかたから見える視界を体験。視野がせまく不安なもの。

1月23日、オーガイイベントホールで、障がいのあるかたの理解を深めてもらおうと、「大河原町障害者等理解促進研修・啓発事業」による講演会『知的障がいのある人の世界をのぞいてみよう!』が開催されました。

当日は、一般社団法人宮城県手をつなぐ育成会から知的障がいのあるかたの理解やかかわりかたなどについての講演があったほか、自閉症のかたが周りのようすをどのように見えているのかを、特殊な眼鏡を用いて参加者全員が実際に体験していました。

参加した皆さんからは、「保護者の体験を交えた講演だったので、とても実感できた」「さまざまな障害についての特徴なども認識できた」などの感想が聞かれました。

未来の自分と約束

大河原中学校立志式

大河原中学校の伝統行事「第52回立志式」が2月4日、えずこホールで行われました。

立志式を迎えたのは2学年の立志生222人で、立志生を代表した7人が、図書館司書や陸上自衛官、調理士、警察官、建築家、中学校の先生、野球に携わることなど、それぞれが思い描く将来とそのため今できることを発表しました。

その後、一目千本桜が描かれた記念製作のモザイク壁画を背に、記念合唱が行われました。また、代表の生徒により両親への感謝の言葉が述べられると、温かい拍手が惜しみなく送られました。



▲立志生全員で、記念合唱「輝くために」を将来への思いを込めて歌いました。

スポーツ☆ニュース (敬称略)

- 町民バドミントン大会 開催日 1月25日 会場 総合体育館
 - 男子シングルス一部 優勝/猪陽祐 準優勝/鈴木清貴 第3位/小熊健、鈴木智紀
 - 男子ダブルス一部 優勝/嶋田・山田組 準優勝/小熊・鈴木組 第3位/村上・我妻組、佐藤・伊妻組
 - 女子ダブルス一部 優勝/佐藤・佐藤組 準優勝/松崎・遠藤組 第3位/佐藤・鈴木組、岡・浅野組
 - 混合ダブルス一部 優勝/山田・佐藤組 準優勝/嶋田・石上組 第3位/猪・佐藤組、木村・浅野組
 - 男子シングルス二部 優勝/佐藤裕太 準優勝/栢盛丈太郎 第3位/小野寺敬多、渡辺裕太
 - 男子ダブルス二部 優勝/佐藤・阿部組 準優勝/小野寺・日下組 第3位/轡・渡辺組、佐藤・石上組
 - 女子シングルス二部 優勝/猪彩乃 準優勝/太田成美 第3位/亀山莉子、村上友梨
 - 女子ダブルス二部 優勝/猪・太田組 準優勝/木村・村上組 第3位/亀山・齋藤組、向坂・我妻組